



Hokunoh

2025-9-26

ジン・校長通信 No. 87

子どもたちの笑顔のために

夏休み弁当作りに高校生

名護

令和7年8月27日

琉球新報掲載記事

【名護】学校給食がない夏休み期間中の子どもたちに食事を届けようと、名護市生活支援課サポート係は7月22日から8月25日、無償での弁当宅配を実施した。市大南の就労継続支援B型事業所「us plus (アスプラス)」と市内の子ども食堂「屋部の浦食堂」が協力。市内の高校生ら計約70人がボランティアとして参加し、弁当作りと子ども食堂を手伝った。

4校70人参加「子ども笑顔うれしい」

高校生ボランティアの参加は2024年から始まった。これまでも、両事業者は、長期休み期間中に食事支援を必要としている子どもがいる世帯へ弁当を提供してきた。弁当宅配の需要は年々高まり、スタッフを増やす必要があったことから、高校生ボ

ランティアの参加を呼びかけ、今年は、名護、北部農林、名護商工、名護特別支援学校の4校で募集した。

屋部地区センターの調理室で8日午前10時ごろから、高校生らが調理を始めていた。正午前になると、調理室前の部屋に料



調理を手がける高校生ボランティア



笑顔でご飯をよそう高校生ボランティアの阿波連瑠璃さん(左端) 18日、名護市

理が並び始め、部屋の前には子どもらが行列をつくっていた。

食堂がオープンすると、子どもらは「おなかすいた」と駆け込んだ。その日のメニューはカレーライスとサラダ。おいしい食事に子どもらは笑顔をみせ食堂はにぎわいをみせた。

笑顔で子どもらにご飯をよそっていた北部農林高校2年の阿波連瑠璃さん(17)は「家族にご飯を作ることが好きで、子どもたちの笑顔が見たいと参加を決めた。いろいろな性格の子ど

もたちがいて、話ができて、本当に楽しかった」と笑顔を見せた。

名護高校2年でボランティア部に所属する岸本涼芳さん(17)は「地域に関わることがしたくて参加した。子どもたちがお代わりしてくれてうれしかった」と話した。

屋部の浦食堂の宮里辰宏代表は「参加した生徒らが、この経験を通して将来に役立つ気づきを得てくれたならうれしい」と語った。(玉寄光太)



ボランティアの皆さんご協力ありがとうございました

保護者⑦

いつもおいしいお弁当をありがとうございます。

しばらく学校や放デイもお休みしており、そんな中でのお弁当提供にとても助かっています。

(家計的にもありがたいです)
特に、以前いただいた親子丼ですが娘が気に入ってペロリと完食していました。娘が食べなかった時に私も食べてみましたがやはり誰かが作ってくれたご飯はこんなにもおいしいんだと、心が温くなりました。

保護者⑧

ボランティアの皆さんお弁当を子どもたちのために作ってくださりありがとうございます。タマゴも助かりました。

暑い中の配達もありありがとうございます。お弁当楽しみにしています。

たくさんのご支援・ご協力ありがとうございました。

9月17日(水)名護市福祉事務所より、夏休みにボランティア活動へ参加された皆さんへお礼のお手紙が届きました。北農からは生活科学科17名(1年10名、2年7名)、食品科学科7名(1年5名、2年2名)、林業緑地科1名(1年)の計25名が参加しました。子どもたちの笑顔のために、純粋な思いで弁当作りに取り組んだ生徒たちの姿は、本当に立派で、心から誇らしく思いました。